

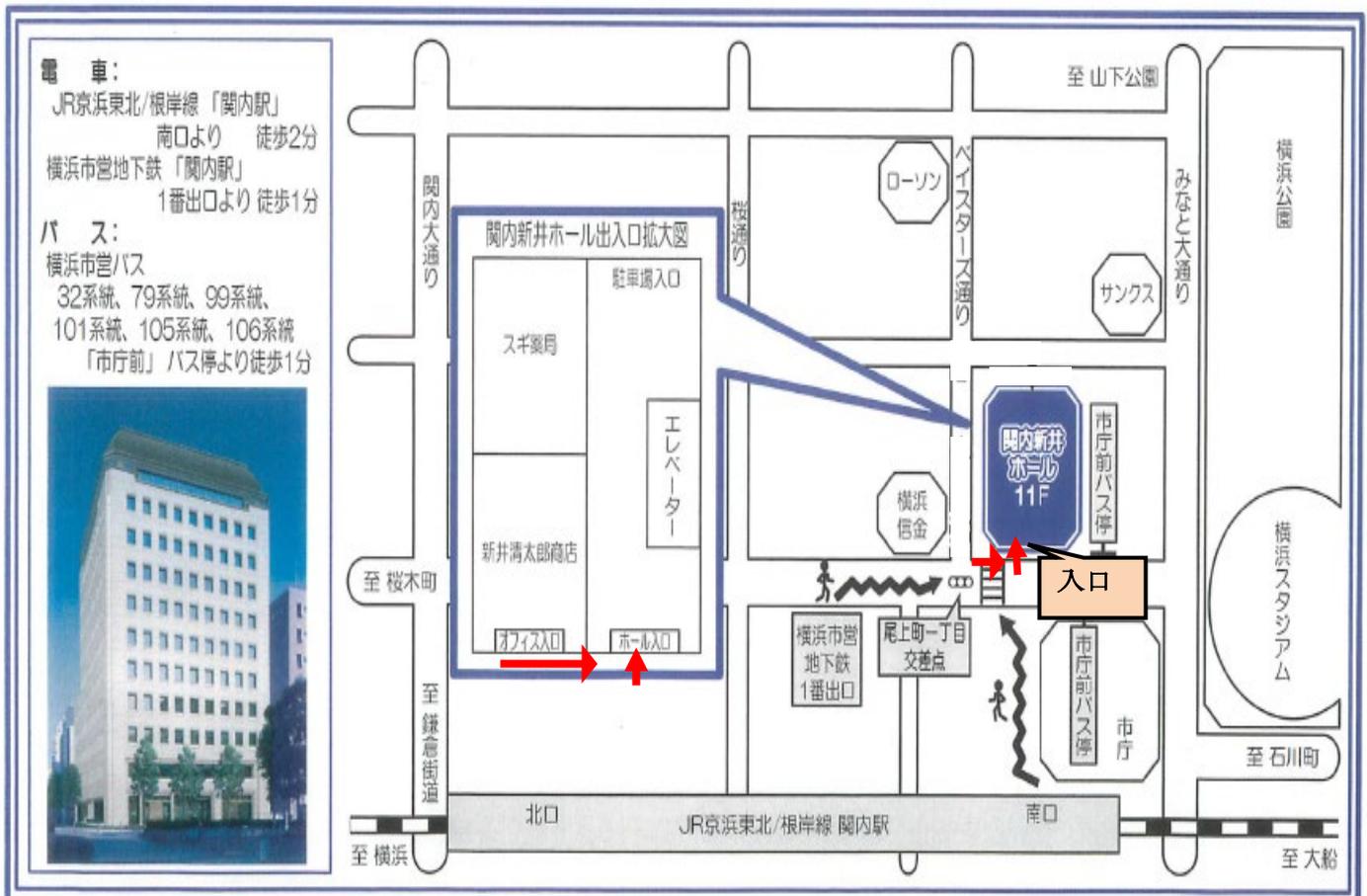
## 関内新井ホール案内図

会 場: 関内新井ホール

横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11階

### 関内新井ホールへのアクセス

住 所: 横浜市中区尾上町1-8  
 関内新井ビル11F  
 電 話: 045-681-6763  
 F A X: 045-681-4859



平成 30 年度第 2 回『終末期における在宅医療・介護連携対応研修会』  
～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実際 事例から学ぶ～  
開催要領

## 1 趣 旨

本研修会は、県高齢福祉課委託事業として、在宅での終末期療養支援に対応する介護や医療の専門職に対して、終末期の在宅医療・介護における多職種連携について必要な知識の習得と向上を図ることを目的に開催致します。

今年度の第 1 回研修会では、ACP をテーマとして、倫理面からの理解や在宅医、病院の考えを学ぶプログラムで開催し、多数のご参加をいただき関係の皆様への ACP への関心の高さが伺えました。第 2 回研修会では引き続き ACP の理解を深めていくことを目的としております。

※ACP の愛称が「人生会議」に決まりました。(11 月 30 日厚労省公表)

今回は、在宅と病院の立場から、それぞれチームで進めた ACP の事例を学び、多職種グループでのディスカッションを行う流れで研修を進めます。

地域包括ケアシステムを推進するうえで、地域包括支援センターの職員をはじめ医療・介護関係者に向けて ACP の理解を深めていくことは非常に大切なことであり、引き続き本研修会を通じて関係者の意識共有を図りたいと考えます。

## 2 開催日時・場所

日 時：平成 31 年 2 月 21 日（木） 18：30-20：45 程度

場 所：関内新井ホール（横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 11F）

## 3 参加対象、定員

医療職（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリテーション専門職等）、介護職・福祉職（介護支援専門員、介護福祉士、訪問介護員、栄養士、MSW 等）、地域包括支援センター職員・行政職等

定員 120 名程度

※周知先の関係機関

郡市医師会、神奈川県病院協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県訪問看護ステーション協議会、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会、神奈川県ホームヘルプ協会本部、神奈川県介護福祉士会、神奈川県介護支援専門員協会、神奈川県栄養士会、神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、神奈川県行政、市町村行政

## 4 参加費 無料

## 5 申込み方法

別添受講申込書を F A X（0 4 5 - 2 4 1 - 1 4 6 4）にて、平成 31 年 2 月 8 日（金）までにご送付ください。

## 6 研修会の内容（予定）

別添プログラムのとおり

平成30年度第2回『終末期における在宅医療・介護連携対応研修会』  
～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実際 事例から学ぶ～

日 時 平成31年2月21日（木）午後6時30分～

場 所 関内新井ホール

主 催 神奈川県医師会

司 会 神奈川県医師会理事 高 井 昌 彦

1 開 会

2 挨拶 神奈川県医師会副会長 武 内 鉄 夫

3 講 演

座長 神奈川県医師会副会長 武 内 鉄 夫

(1) ACP概論 「そもそも誰のためのACPか？」

横須賀市医師会副会長／社会福祉法人心の会三輪医院院長 千 場 純

(2) 多職種チームで進めたACP事例

在宅事例 「難病若年患者へのACP」

在宅多職種チームの皆様

横須賀市医師会副会長／社会福祉法人心の会三輪医院院長 千 場 純

病院事例 「認知症患者へのACP」

病院多職種チーム（医師、看護師、退院調整看護師、MSW、セラピスト等）

神奈川県病院協会理事／神奈川県医師会理事 篠 原 裕 希

4 グループディスカッション

5 各卓発言（質問と回答）

6 総 括

7 閉 会